



生みの親といっしょに
よりよい育ての親に

わたしを ぎゅっとして
わたしを 見つめて
わたしを 聞いて
わたしを 呼んで

【私たちが目ざした童心会の運動会】
～やる気・げん気・ほん気が生れた運動会～

私が50有余年、この人間教育の仕事をしてきて忘れられない思い出は数限りなくあります。
その中で、今でも鮮明に目の中に残っている出来事は、運動会の行事の中にありました。
運動会のテーマは毎年、次のようになっています。

〔 (社福)童心会 親子運動会
やる気・げん気・ほん気
一人ひとりがかがやく運動会 〕

私が今も忘れられない思い出の運動会の日は2019年10月、3年前の台風19号が
全国各地に大きな被害をもたらし、その影響で柏さかさい保育園の運動会が
柏市立土南部小学校の体育館で行われた日の出来事でした。

朝から準備のために集まってくれた保護者会協力会の皆さま、保護者会役員、
親父の会の皆さまの願いと祈りは、さくら組さんの最後の演技を悔いのないように
発表させてあげたいということだけでした。

その願いと祈りが天に届いたのでしょいか、雨が小降りになり上がりそうになると
親父の会をはじめとする協力会の方々にはグラウンド整備を始めたのです。

雨が小降りになったとはいえ、台風のあとの水たまりです。

また雨が降り出すとまた水たまりです。

その様子を見ていた私はと言えば、開会式のご挨拶を終えて子どもたちの運動会の演技に感動し、
その出来映えに目をうるませながら牛久みらい保育園の閉会式に向かおうとした時です。

外に出て、私は信じられない光景を目の当たりにしたのです。

びしょ濡れになりながらも、皆さんがさくらぐみさんの最後の運動会の発表のことを考えて
グラウンド整備に打ち込んでいる様子に涙が止まりませんでした。

嗚咽しながら運転していったことを今でも思い出して感動に浸っております。



笑ったかず一番 だっこされたかず一番 やさしくされたかず一番
遊んだかず一番 でかけたかず一番 チャレンジしたかず一番

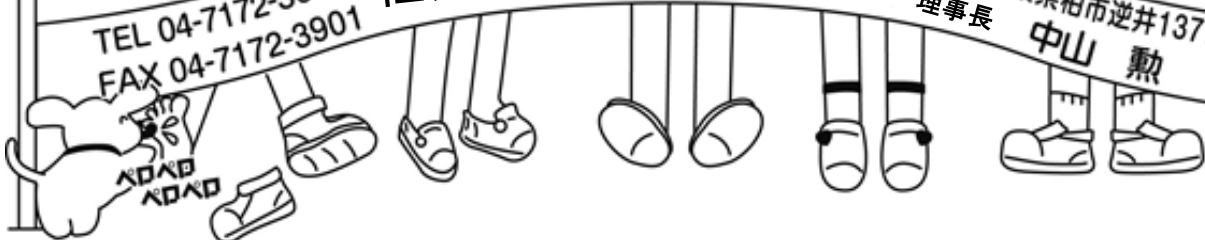


E-mail doushinkai@doushinkai.jp URL <http://doushinkai.jp>

TEL 04-7172-3939
FAX 04-7172-3901

社会福祉法人 童心会

〒277-0042 千葉県柏市逆井1377番地1
理事長 中山 勲



ぐずついた悪天候の中、私が向かったのは牛久みらい保育園でした。
関東地方に大きな影響を及ぼした台風19号は茨城県にある牛久みらい保育園の運動会にも大きな傷あとを与え、園内のみんなの広場で窮屈な運動会をしいたげられていました。
しかしここでもさくら組さんの保護者やファミリー協力会の皆さんの願いと祈りは一緒でした。
「さくら組さんは最後の運動会なのだから、子どもたちのやる気(意欲)・げん気(気力)・ほん気(意志)が生まれた運動会」の姿を見てみたいという親心だったのでしょうか！
雨が小降りになると水たまりの排水やぬかるみの整地やグラウンドの整備などで、
気持ちの落ち着く時間などなかったのではないかと思いました。子どもたちのために働く親やファミリー協力会の皆さんの姿がとてもしらしく思えて仕方なかったことを今でも鮮明に覚えています。
しかし皆さんの祈りが通じたのでしょうか。
崩れたはっきりしない天候の中で、皆さんの願いが叶い運動場でのおすすめの演技の発表が出来ました。
さくら組さんの対抗リレー、フラッグやパラバルーン、
そして泥だらけになりながらも真剣に練習の成果を発表した組体操など、
無事に涙、涙、涙につつまれた中での運動会を終わらせることができました。

今改めて私たちの生活を見つめ直してみると、各家庭の家訓もなくなり、
それぞれの家庭教育の中にあつた歴史的・文化的な価値観さえもそれぞれになってしまいました。
併せてご近所(地域共同体)の教えもなくなり、
大切だったガキ大将を中心とした子ども社会の教えもなくなりました。
このような時代の中にあつて、これからは保育園が地域コミュニティ創りの核になるべきだと思いました。
この運動会における保護者会、役員、ファミリー会の協力、親父の会、
その他有志の人たちの協力は、昔の村人たちの協力しあう姿そのものでした。

その昔、運動会は地域の人たちが総出でお弁当やお惣菜を持ち寄って
分かち合つて食べる村の秋のお祭りだったのです。
だから学校の運動会は、親戚の方々やご近所の方々との交流の場でもありました。
ご近所の人たちに対する人との関わりなど、大切な人間関係を学ぶ機会でもありました。
また、人々の住む地域社会全体で子どもたちみんなを見まもり、
次の世代につなぐ宝として、大切に育むことを願いのひとつとしていたのです。
だからそれらが失われたこの時代に、私たちは保育所こそが「保育所から始める地域コミュニティ創り」の
核になるべき時代であると思つているのです。

13年経つた今でも、柏さかさい保育園の”親父の会”は、
保育園のいろいろな行事に初代会長自ら協力、参加してくれているのです。
また、(社福)童心会の運動会やいろいろな行事には、ばら組さんが0歳児から参加している意味を理解し、
もも組さん、すみれ組さんなどの早期の成長、発達などを目の当たりにしていると
新しい科学を取り入れた保育の重要性を感じています。
そして村人たちの協力が満ちあふれている運動会の持つ行事の意味の重さと、
この苦しい練習を通して身につけた宝物を子どもたちの”一生モン”にしたいと祈りながら、
私たちが目ざした運動会をふり返つていただきたいと心から思っています。

皆さま、運動会に対するご協力と、心からの応援 本当にありがとうございました。

〔 やる気(意欲)・げん気(気力)・ほん気(意志)が生れた運動会
～ 一人ひとりがかがやく運動会 ～ 〕

令和4年 10月 吉日
社会福祉法人 童心会
理事長 中山 勲

※ 童心会だよりはホームページ上でご覧になれます。
理事長の部屋【<http://doushinkai.jp/message/>】